

みんなに知ってもらいたい

岐阜市の「推し」

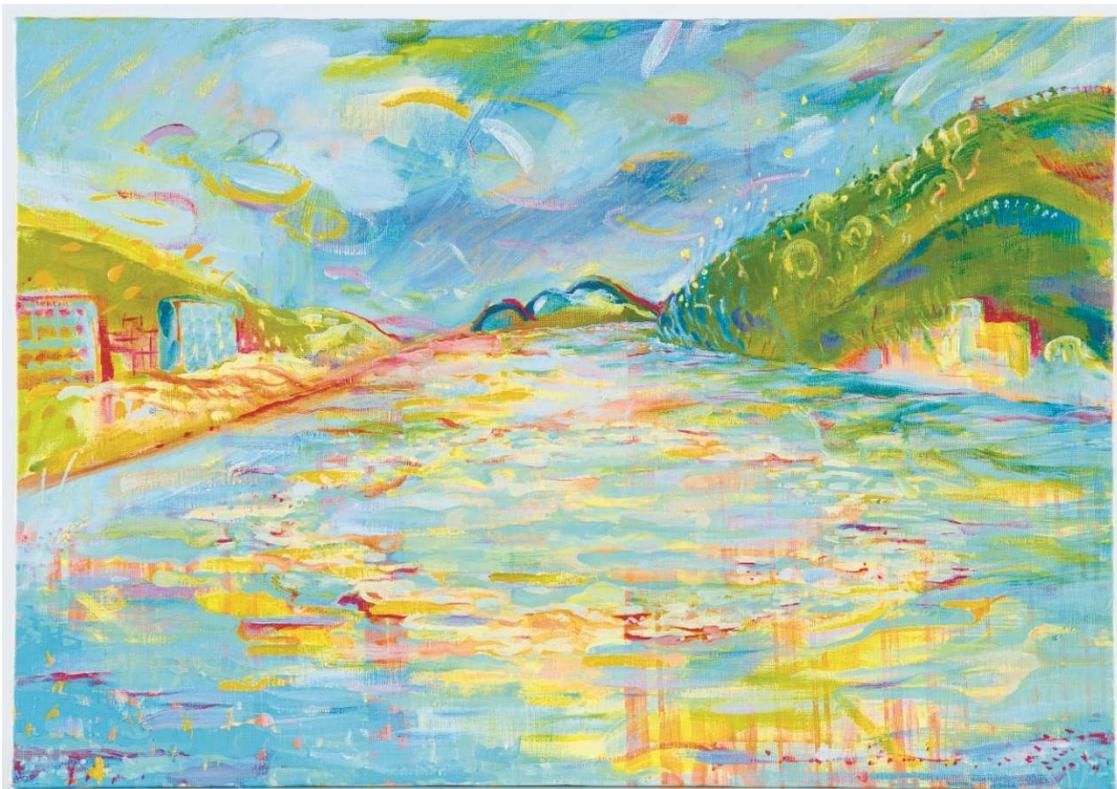
〈応募結果〉

10月16日～11月10日に、岐阜市の「推し」を皆さんから募集したところ、
555件の応募がありました。

応募いただいた方からは、「推し」とともに、それを推す理由もいただきました。

皆さんの熱い思いが伝わります。ありがとうございました。

皆さんと共有するため、また、投票の参考としていただくため、
その一部をご紹介します。



このページの絵は、岐阜市美殿町の共同アトリエ「Art Studio Pomino(アートスタジオ ポミノ)」で活動する5名の画家が共同で制作したものです。

目 次

1 金華山、岐阜城、長良川、鶺鴒	…1
①金華山	…1
②岐阜城	…1
③長良川	…1
④鶺鴒	…2
※ ①～④の組み合わせ	…2
2 今回、投票対象となる「推し」候補	…3
①喫茶文化	…3
②鮎	…3
③伝統と歴史（岐阜提灯、岐阜和傘、信長公、籠大仏 など）	…4
④長良川花火大会	…4
⑤住みやすさ（自然と街が近い など）	…4
⑥柳ヶ瀬商店街	…5
⑦冷やしたぬきそば	…5
3 投票対象には入らなかった「推し」	…6

※ 類似の理由をまとめる等、一部編集しています。

1 金華山、岐阜城、長良川、鶺鴒

それぞれ単体でなく、「金華山と岐阜城」等、組み合わせてのご応募もたくさんいただきました。これら4つは、切り離せない岐阜市の「推し」として、オブジェのベースに位置付けます。

以下、皆さんからいただいた、「推す理由」の一部をご紹介します。

①金華山

- 市の中心に位置するシンボル
- 織田信長公が居城した岐阜城があり、山頂から見る岐阜市内が絶景。また、市内から見上げると岐阜城が見えパワーをもらっているような気がする。
- たくさんの登山道があり、綺麗な風景が見られる。
- 気軽に登れる山で、歴史がある。

②岐阜城

- 岐阜城からの景色、特に夜景が年間を通して美しい。
- 歴史があり、また、現在も岐阜市のシンボル・ランドマークである。
- 毎日見てもその佇まいが美しい。岐阜市出身の自分にとって心の原風景
- 多くの学校の校歌にも詠まれている。
- 夜になると花火や鶺鴒と一緒に写真が撮れる。

③長良川

- 水がきれい。泳げる美しさ
- 40万都市の真ん中をあれだけの規模の川がきれいなままで流れている。
- 子供の頃から遊び場として親しんだ記憶、川面に光る銀鱗
- 岐阜市の中心を流れ、「長良川」が名称に入った建物、シンボル等が多くある
- 海がなくても川（長良川）がすごく綺麗で、しかも有名な鮎が泳いでいる。
- 岐阜市の伝統、文化、芸術を育んできたものである。
- 透き通った川の水、蛇行する川の曲線、背景の山並み、羽を休める鳥達、優雅に泳ぐ魚達…市内の長良川の流域のどこからでもその美しい姿(景色)が見られ、心が癒される。全てが絵画のように素晴らしい景観。こんなにも身近にこの美しい風景があることに感謝し、岐阜市に住んでいる幸せを日々噛み締めている。

④鵜飼

- 幻想的な風景など非日常体験ができる。
- 風情がある貴重な光景はここでしか見られない。
- 1300年以上受け継がれてきた伝統漁法。宮内庁式部職鵜匠による鵜飼は全国屈指で岐阜の夏の風物詩
- 清流の国ぎふにふさわしい文化の象徴
- 岐阜市が誇る文化遺産
- 歴史と伝統があり、世界に誇れる文化遺産

※ ①～④の組み合わせ

- 岐阜市内の様々な場所から見えて象徴的（金華山と岐阜城）
- 歴史もあり、自然、風景が綺麗（金華山と岐阜城）。
- 岐阜城を見ると岐阜に帰ってきたと感ずることができる。この景色を見るたびに、岐阜市に住んでいてよかったと思わされる（金華山と岐阜城）。
- 岐阜市のどこからも見え、見る場所によって顔が変わり、シンボリックな存在（金華山と岐阜城）
- 心を穏やかにしてくれる景色である（岐阜城と清流長良川）。
- 長良川を見下ろせば朝日に照らされ、水面では魚が跳ね、川底まで綺麗に見える様、金華山を見上げれば朝日を背景に岐阜城と金華山が綺麗に見える様、春は新緑、夏は入道雲、秋は紅葉、冬は雪化粧どの時期も綺麗に見え、良い所に住んでいるなあとしみじみ感じる（金華橋から見下ろす長良川と、見上げる金華山）
- 全国を探しても、40万人の市内にこれだけ綺麗な風景を見られる場所はないと思う（長良川から見る金華山）
- 岐阜市の原風景（金華山と長良川）
- 都市部を流れる長良川と、金華山、岐阜城の景観は、心象風景として市民に深く根付いている（自然と歴史が息づく景観）。
- 金華橋から見る長良川と岐阜城の景色は、昼間、夜間ともに素晴らしい。夜になれば月とその景色をカメラに収めようと金華橋上に人が集う。昼は散歩途中に眺め、夏は花火、鵜飼、見どころの多い場所（長良川と岐阜城、花火、鵜飼）

2 今回、投票対象となる「推し」候補

誰もが認める「金華山」「岐阜城」「長良川」「鶺鴒」をベースとして、付け加えたい「これこそが岐阜市の推し」と思うものに投票してください。

以下、皆さんからいただいた、「推す理由」の一部をご紹介します。

①喫茶文化

- チェーン店展開の喫茶店よりも個人経営の喫茶店が多く、それぞれが独自のメニューで頑張っている。
- 朝活のきっかけになる。
- 昔から朝食の場、コミュニケーションの場、仕事の場、安らぎの場として、多くの人に地元の喫茶店が利用されている。
- 老若男女利用している。家族や地域住民等のコミュニティ文化
- 岐阜市の喫茶店やカフェのモーニングは、お店によって種類や量など色々な工夫がされていて、非常に満足度が高い。
- 自分自身、休日でもモーニングのために早起きをし、喫茶店等に行く。また、岐阜市の一世帯当たりの喫茶店代支出額が全国で一位になっている事を見ても、市民にとっては一番身近な文化。
- 総務省家計調査で一世帯当たりの喫茶代支出額が3年連続 1 位となり、地域ブランドとして誇れる。

②鮎

- 清流長良川の岐阜市のイメージと深く結びつくもの
- 昔から皇室に献上している。
- 鮎が美味しいのはもちろん、長良川が清流であることもアピールできる。
- 岐阜の銘菓といえば鮎菓子を思い浮かべる人も多い(鮎菓子)。
- ふんわり皮の中に、もちり牛肥。岐阜を初めて訪れた時、お土産に鮎菓子を買った、とても喜ばれた。それ以来岐阜へ行くと川原町で必ず鮎菓子を購入。いけない時は、取り寄せて岐阜の味を堪能している。鮎菓子を全国に、全世界へ届けたい！強い気持ちで応援(鮎菓子)。
- 江戸の将軍家にも献上されたものなので(鮎鮓)
- ローカルな価値がある(鮎鮓)

③伝統と歴史（岐阜提灯、岐阜和傘、信長公、籠大仏 など）

- 長良川の河川敷で育った竹と美濃和紙が使われており、一つ一つ丁寧に作られている。小さいころ、お盆の時期には、家に提灯が飾られていた記憶もあり、風情があってとても素敵なものなので、今後も残していきたい伝統工芸品の一つである(提灯)。
- 伝統文化として誇ることができるし、色がきれいなので万人に対して視覚的に「推す」ことができる(和傘)。
- 伝統技術を継承した作品であり実用として使用できる(和傘)。
- 全国で生産量トップにもかかわらず、市内外問わず知名度が低いと思うのでもっと推したい(特に和傘や提灯)。
- 岐阜市の先人たちが紡いできた伝統的工芸品の魅力を感じ、後世にもつなげていきたい岐阜市の宝(伝統的工芸品(岐阜提灯、岐阜和傘、岐阜団扇、紙のこいのぼり))
- 人気武将ランキングで常に1位を誇る岐阜市ゆかりの戦国武将。大河ドラマでも多く描かれており、岐阜市も三度大河ドラマの舞台として登場(「国盗り物語」「信長-KING OF JAPAN-」「麒麟がくる」)(織田信長公)
- 岐阜市に来たらすぐに目につく所にあるし、「岐阜」と命名した信長の像なので推したい(黄金の信長像)。
- 岐阜市として誇れる大仏だと思われ、癒される(籠大仏)。

④長良川花火大会

- みんなが楽しみにしている夏の風物詩
- 岐阜城そして金華山、長良川を見ながらの大量の花火があまりに壮観
- 清流長良川を舞台として岐阜城をバックに1万発超の花火が打ち上がる、視界全体に広がるワイドスターマインは他に類を見ず圧巻

⑤住みやすさ（自然と街が近い など）

- 自然が岐阜市の一番の「売り」
- 町と長良川が調和(大縄場大橋からの景色)
- まちなかに、自然がある。この様な場所は、あまり見当たらない。
- 県外・市外の方から、「岐阜市は、街の割に身近に自然(金華山や長良川)があり、羨ましい」と、よく聞く(都市と自然が融合している)。
- 中核市なのに自然が多い。
- 自然が多く、移住するにあたり、とても感動した。

- 山、川、平野が広がり、風光明媚な暮らし易い街
- ほどよく街でほどよく自然がいっぱい。
- 不便でない程度に栄えていて、自然が豊か。
- 都会と田舎の両面を感じられる。
- 日本の真ん中で移動しやすい。
- 自然にめぐまれて住みやすい。
- 本数の多い安定した電車量で、結構色々なところから乗れる。岐阜駅へ行けば、電車で名古屋等いろいろなところに行ける(交通の便がとていい)。
- JRと名鉄両方通っており、交通障害や災害時に強いし電車で行ける場所も増える。
- 岐阜県の県都、中心都市として一定の都市機能を有し、暮らしの利便性を享受できる一方で、金華山、長良川をはじめ豊かな自然を五感で気軽に享受することもできる。これら双方が簡単に享受できるのは岐阜市では当たり前で、それを「推し」と考える市民は少ないと思うが、一度、岐阜市を離れた者からすると、その素晴らしさは改めて感じざるを得ない(都市の利便性と豊かな自然(山、川)の双方を享受できるまち)。

⑥柳ヶ瀬商店街

- 柳ヶ瀬ブルースが有名
- ノスタルジックな雰囲気漂う町は歩くだけで楽しく、サンビルのようなイベントや雑貨屋や喫茶店、お菓子屋さんなど新たな発見ができる場所
- 変わった企画が多い(ジュラシックアーケード、サンバ等)。
- 魅力的な店が多い(食べ物系)。

⑦冷やしたぬきそば

- 岐阜市民のソウルフード
- 美味しい

3 投票対象には入らなかった「推し」

ぎふ金華山リス村、ファミリーパーク、岐阜公園、長良公園、木遊館、岐阜駅（JR岐阜駅前のペディストリアンデッキ、岐阜駅北口駅前広場の噴水）、みんなの森 ぎふメディアコスモス、伊奈波神社、伊奈波神社の逆さ狛犬、手力雄神社、金神社の金の鳥居、加納天満宮、真長寺、大智寺、玉宮町、川原町、伊奈波通り、長良の柿畑、鶺鴒のマンホール、岐阜市内に掛かる橋、子どものあそび場、ロイヤル劇場、県岐商、川（特定の川でない）、山（特定の山でない）、星空、自然（全般）、星空、百々ヶ峰、御望山、ヒメコウホネ、信長まつり、山と川と橋の文化、提灯や団扇を作る技術、落語、早田太鼓、金銅獅子唐草文鉢（護国之寺蔵）、サンデービルディングマーケット、枝豆、鮎鮎、水、酒、雄総のぶどう、ベトコンラーメン、柿、栗きんとん、いちご、食全般、鮎、鶺鴒、ギフチョウ、コサギ、うーたん、斎藤道三公、鶺鴒の観覧船船頭さん、FC岐阜、方言、金華山ドライブウェイ駐車場から眺める夜景、市役所 15・17F の展望からの眺め(特に夜景)、日本の真ん中にある事、近所付き合いがいい、子育て支援、大きな病院が多い など